

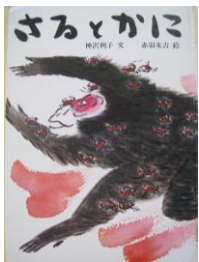
えほんにっき

R1. 12. 20 No.190
封戸保育園



月組さんの手作り絵本や図鑑。まだまだ作成中!

<今月のおすすめ絵本>



「さるとかに」

神沢 利子 再話

赤羽 末吉 絵

銀河社

日本5大昔話をご存知でしょうか。「ももたろう」「かちかちやま」「したきりすずめ」「はなさかじい」「さるかにがっせん」の5つです。

その中でも、柿の豊作だった今年、「さるかに合戦」のお話はなかなか子どもたちの興味をひきました。保育園にある「さるとかに」の絵本は、神沢利子再話、赤羽末吉絵の分です。この「さるとかに」では、かにもさるも死んでしまいます。きちんとした再話をする方なのでなかよしこよしにはなりません。また、きびだんごがでてきます。きびだんごは、「ももたろう」だけかと思っている方も多いと思いますが実は江戸時代の「猿蟹合戦絵話」ですすでにきびだんごが出てくるお話となっています。甘く色づけされていない絵本ですが、目には見えなくても子どもたちの心に届くものがある絵本だと思います。

おすすめ絵本にもありますが、日本の「5大昔話」というのをご存知でしょうか。室町時代から江戸時代初期にかけての絵話やお話などから選ばれているようです。「ももたろう」「かちかちやま」「したきりすずめ」「はなさかじい」「さるかに合戦」の5つとされています。昔話は、絵本や本などが無い時代、そしてまだ字を読める人がいない時代から口伝に伝わってきたものからなっています。口伝に伝わっていく中には、少しずつ変わっていくこともあります。そして一つひとつのお話の中には、なにか伝えたい思いがあるようです。「猿蟹合戦」も深読みをすれば、サルは縄文人、カニは弥生人、その交代の物語だと書いてあるものもあります。私たちにできることは、なるべく原作に近い形の再話での絵本を選んであげることなのではないかと思っています。ただ甘いだけのお話ではなく、根底に流れる思いが伝わるように・・・

< 月組さんでは・・・ >

9月から下の部屋で午後を過ごす月組さんです。2階では絵本を読んでもらいますが、下で年長児だけで過ごす時には、幼年童話を読んでもらいます。絵がなくて、耳で聞くだけです。じっくり聞くことができるようになってきましたし、「続き」がわかるようになってきています。次の日の続きを楽しみに待っているようです。

日々の経験の中で「お話」や「絵本」や「図鑑」に親しんできて、周りにあるものに対して「なんだろう?」「なあに?」という思いもある成長してきた子どもたちです。そしてその思いをもってなんと自分たちで「絵本」や「図鑑」を作り始めたのです。絵も字も自分で書く子どもたちやら、絵は描くけれど字は先生書いてという子どもたちなど様々ですが自分で作ってみたいという思いは十分です。いろいろなマイブック、世界に1冊の絵本。見せてもらうのが楽しみです。



(12月のお気に入り絵本です。青は月刊絵本、緑字は月組だけの分です。)

	月	星	雪	花	つぼみ	わかば
12月のお気に入りえほん	あおいとら	ゆきだるまのようちゃんとてん		かえるとかれーらいす	ちいさなほこ	ちいさなほこ
	おもちのきもち・はっきよいどん・どれがほくかわかる まゆとおに・とべどーどー・ゆうくんのくまパジャマ・いいから いいから4・ぶたぶたくんのおかいもの・くまさんじゃなくてきつねさん こんこんさまにさしあげそうろう・ねずみのすもう・おたんじょうびの おくりもの・ピロードのうさぎ・ヨクネルとひな・あやちゃんのうまれたひ ぐりとぐらのおきゃくさま・うさおとかめきちの マラソン大会 14ひきのおもちつき・まいにちつかうははってすごい むかしむかしとらとねこは おへそのあな・ももいろのきりん・もりのへをそうる・きっておとこ おおきなおおきなおいも・おおずもうがやってきた・おおきなかぶ やまなしもぎ・12支のはじまり・ねずみじょうど	もちつきぺったん かじだしゆっとうだ ピーマンマンと かぜひききん 14ひきのさむいふゆ パムとケロのさむいあさ わにわにののおふろ はたらくじどうしゃ おもち ほくのにんじん ぞうくんの おおかぜさんぽ	わにわにののおふろ もりのおふとん もりのおふろ しろくまちゃんの ホットケーキ がちゃがちゃどどん くるねこかあさん ブルドーザーと なかまたち だいいなくつ ひとくちどうぞ おにぎり やさいさん	つん こん パっ こぐまちゃんとボール だるまさんが まてまてまて はいおはよう くらいくらい ねないこだれだ うずらちゃんの かくれんぼ みゃーんみゃーん		
		パンくろう				

